（様式１）

指定管理業務評価シート

施設名	蕨市民体育館・蕨市プール		所管課名	生涯学習スポーツ課	指定管理料	53,240,000
設置の目的	市民の体育、スポーツ及びレクリエーションの振興を図り、もって心身の健全な発達と明るく豊かな市民生活の形成に寄与するために設置。					
指定管理者	シンコースポーツ・毎日興業 共同事業体	指定期間	令和3年　4月　～　令和8年　3月		評価年度	令和7年度

指定管理者が行う主な業務の内容

（1）体育館・プールの施設等の利用に関する業務　（2）体育館・プールの施設の維持管理に関する業務　（3）体育館・プールの運営に関する業務
（4）利用料金の収受に関する業務　（5）その他甲が必要と認める業務

施設の利用状況（使用料等の収入実績を含む）

	令和6年度	令和7年度	比較
開館日数（日）	358	358	0
利用者数（人）	161,860	162,619	759
うち講座等参加者数（人）	9,244	8,046	−1,198
使用料または利用料（円）	21,765,115	22,135,235	370,120

（増減の理由）
令和7年度はかつてのような利用水準には達しておりませんが、徐々に利用者数及び利用料において、回復傾向となりましたが、講座参加者数は減少傾向にありました。
プールにおいては、中央プールはコロナ前通り各種イベントを実施し、塚越プールにて釣り堀事業を実施致しました。

管理経費の収支状況

[決算額]　単位：円

収入	75,958,139
支出	80,168,631
市への戻入額	0

利用者アンケート調査の概要

調査目的：施設における利用状況や利用者ニーズ把握の観点から実施
実施期間：令和7年4月1日～令和8年3月31日
対象者：施設に来場した利用者
実施方法：webフォームによる回答
回収数：31件

利用者アンケート調査結果

お住まいの地域		施設を知ったきっかけ		利用した施設		年代			
埼玉県外	4.76%	インターネッ	42.86%	スポーツ教室	4.76%	～15歳	10.00%	40歳～49歳	20.00%
蕨市外	28.57%	口コミ	9.52%	トレーニングルーム	69.05%	16歳～19歳	2.50%	50歳～59歳	17.50%
蕨市内	66.67%	広報【蕨】	14.29%	ボルダリング	2.38%	30歳～39歳	32.50%	60歳～69歳	17.50%
		北コミ通信	7.14%	競技場、武道場、相撲場	2.38%				
		その他	26.19%	卓球場	21.43%				

・中学生もトレーニングルームを使用したい。
・ゴミ箱が欲しい、ほこりやカビがあるので館内清掃の徹底をお願いしたい。

利用者からの要望・苦情等の件数及び処理状況

種別	件数	処理状況
要望（意見・提案）	2	2
苦情（不平・不満）	0	0
その他	0	0

（主な事例の処理状況）
・故障マシンを直してほしい
⇒修繕を実施いたしました。
・館内が暑い
⇒扇風機を設置いたしました

事故等の発生状況

・熱中症の疑いがあり救護室で初期対応
　回復が見られなかったため、救急要請。

施設の整備状況（修繕の必要性とその対応について　など）

・塚越プール外壁修繕
・焼き芋機コンセント破損修繕
・アリーナ倉庫引戸修繕

自主事業に関すること

・ニーズに応え、土曜日の教室開講
・新規教室開設
・トレーニングルームイベントの実施

事業に関すること（実施内容や新規の取組など）

・成人向けの新規教室の展開
・中央プールでのフラダンスの実施
・トレーニングルームにて新規利用者の獲得キャンペーンを展開

評価項目		評価内容		評価	
				指定管理者	市
1　業務の履行状況	（1）基本的事項	報告・連絡調整	事業計画、日報、月報、事業報告書、その他報告等を適切に提出しているか	B	B
			市・関係団体との連絡調整を適切に行っているか	B	B
		個人情報保護	個人情報保護に関する規程を整備し、研修や運用等の適切な対応がされているか	B	B
			個人情報の漏えい、滅失等の事故防止対策を講じているか	B	B
		情報公開・管理	情報公開に関する規程を整備し、研修や運用等の適切な対応がされているか	B	B
			作成、受領した文書の適切な管理がされているか	B	B
		危機管理	事故、災害時の緊急事態に対する対応（マニュアルの整備、訓練の実施など）ができているか	B	B
			事件、事故等が発生した場合、遅滞なく連絡されているか	B	B
			協定書で規定する損害保険等必要な保険に加入しているか	B	B
		事業実施	事業計画に即して、事業を実施しているか	B	B
			協定書等に従い、開館時間や休館日を遵守しているか	B	B
		再委託等	市の承諾なしに、業務を第三者に委託、請け負わせていないか	B	B
			再委託先から適切に業務報告させるなど、再委託先の業務を適切に管理しているか	B	B

（様式１）

指定管理業務評価シート

	(2)事業の実施状況・利用状況	人員体制	管理運営するために必要な人員及び資格者を適切に配置しているか	B	B
			労働関係法令を遵守しているか（労働条件・賃金関係等）	B	B
			従業員の教育や研修が適切に行われているか	B	B
		施設利用	利用者数が前年度実績や目標に対して適切か	B	B
			施設の稼働率が前年度実績や目標に対して適切か	B	B
		利用料金	利用料金の減免は適切に行われているか	B	B
			利用料金の徴収事務が適切に行われているか	B	B
			利用料金の設定（承認）は適切で確実に利用者への周知をしていたか	B	B
	(3)施設の維持管理状況	管理業務	施設、設備の保守管理（点検や修繕等）を適切に行っているか	B	B
			備品等の管理（点検や修繕等）を適切に行っているか	B	B
			清掃、警備、衛生管理業務その他必要な管理業務を適切に行っているか	B	B
	(4)総括	総括(24項目)		B	B
2 サービスの質	(1)自主事業	自主事業	利用者等のニーズを反映した自主事業を実施し、市民サービス向上につながったか	B	B
	(2)運営業務	利用者対応	利用許可や案内など、職員の応対は迅速かつ適切か	B	B
			言葉遣い、態度、服装等の接遇は適切か	B	B
			施設の予約や利用許可などを、条例に従い公平に行っているか（平等利用）	B	B
			利用者の苦情、要望等を聴く仕組みや対応が適切か	B	B
			利用者アンケートなど、利用者満足度を調査し、その結果を活かす仕組みがあるか	B	B
		情報発信	施設及び利用者の利便性を高めるため、ホームページを適切に運用しているか	B	B
			施設案内、事業の開催案内などのパンフレット類を整備し、周知広報を行っているか	B	B
	(3)管理業務	管理業務	施設が清潔に保たれ、利用者が快適に利用できる環境となっているか	B	B
			設備・備品等が利用に支障をきたすような状況のまま放置されていないか	B	B
			外構・植栽の機能・美観が良好な状態に保たれているか	B	B
			避難経路は適切に確保されているか	B	B
			省エネルギー、省資源など環境への配慮がなされているか	B	B
	(4)総括	総括(13項目)		B	B
3 収支・経営状況	(1)施設運営・収支状況	口座管理、経理の区分	指定管理者の収支は専用口座で管理し、経理区分が整理されているか	B	B
		経費節減	事業計画に即した経費節減の取組みを実施し、効果があったか	B	B
		自主事業の収支状況	収支状況が、当初の目標を達成しているか（利用料金収入、委託料等の実績）	B	B
	(2)経営状況	貸借対照表	法人、団体の事業と未関係の勘定科目又は資産負債項目はないか	B	B
		損益計算書	適正な利益率を確保できているか。	B	B
		キャッシュフロー計算書	営業キャッシュフローがプラスを維持できているか	B	B
			投資キャッシュフローは妥当か	B	B
			財務キャッシュフローは妥当か	B	B
		監査報告書	適正な会計手続きがされているか	B	B
			偶発債務・簿外債務等の存在が指摘され、財務健全性が脅かされてないか	B	B
		財務諸表全般	異常値、異常事項、大きな前期比変化がないか。ある場合その理由は妥当か	B	B
	(3)総括	総括(11項目)		B	B
4 総合評価		1～3の総括による総合評価		B	B

項目別評価	A（優良）：仕様書、協定書、事業計画書等を遵守し、その水準よりも優れた管理が行われた。 B（良好）：仕様書、協定書、事業計画書等を遵守し、その水準に沿った管理が行われた。 C（課題含）：仕様書、協定書、事業計画書等を概ね遵守しているが、一部に課題がある。 D(要改善)：仕様書、協定書、事業計画書等に遵守されていない点が多く、改善の必要がある。
総括	A（優良）：項目別評価がすべてB以上であり、かつAが過半数以上である。 B（良好）：項目別評価がすべてC以上であり、かつB以上が8割以上である。＜A以外＞ C（課題含）：項目別評価がすべてC以上である。＜A及びB以外＞ D(要改善)：項目別評価にDが含まれている。
総合評価	A（優良）：項目別評価がすべてB以上であり、かつAが過半数以上である。 B（良好）：項目別評価がすべてC以上であり、かつB以上が8割以上である。＜A以外＞ C（課題含）：項目別評価がすべてC以上である。＜A及びB以外＞ D(要改善)：項目別評価にDが含まれている。

特記事項等（課題・成果）	【指定管理者】・令和7年度は、利用人数で昨年比増759人、利用料金収入で370,120円の増加となりました。個人利用においてはトレーニングルームの新規利用者の獲得につながるキャンペーンを展開し、令和7年度も3,000人以上の利用増につながりました。市民の方の運動ニーズに応えることができたと考えています。今後は増加傾向にある利用者の方への安全管理や、利用マナーの向上等に取り組み、利用環境の向上に努めるとともに講座参加者数を増やせるよう周知活動に努めていきます。
	【市】利用者が気軽に身体を動かせる環境づくりに取り組んでおり、スポーツ教室等の自主事業を通じて新たな利用者の獲得にもつなげている。今後も、安心・安全な施設管理を徹底するとともに、利用者のニーズを捉えた自主事業のさらなる充実を図り、接遇や情報提供などのソフト面を含め、利用者サービスの一層の向上に努めることが期待される。